

リケジョ サイエンスフォーラム -ONLINE- II



【開催日】2022/ 1/ 7 10:30～15:00

【参加人数】66名（保護者含む）



筑波大学・つくば市共催「リケジョサイエンスフォーラム-ONLINE- II」を開催しました。女子中高生の方、その保護者の方を含め100名以上のお申込みがあり、66名の方にご参加いただきました。

夏に引き続き、完全オンラインによるイベントとなりましたが、筑波大院生の「研究発表」、企業や研究機関、大学等で活躍されている理系社会人の「お仕事紹介」、学生や社会人と交流ができる「ラウンドテーブルカフェ」、筑波大教員や学生による「個別相談」と、プログラムを追加しての開催となり、各プログラムとも盛況を博することができました。

「理系」と言っても幅広く、今回のイベントで少しでもその魅力や研究の楽しさをお伝えできていたら嬉しい限りです。

研究発表

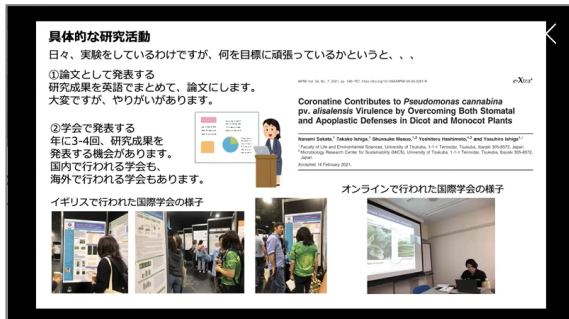


研究発表は4つのグループに分かれて行いました。参加者は事前に配布した発表資料を基に、質問を交えながら興味のある研究内容の発表に参加していました。

発表内容は研究についてだけでなく、理系に進学した理由、大学生活全般について、筑波大学の魅力など、多岐にわたりました。

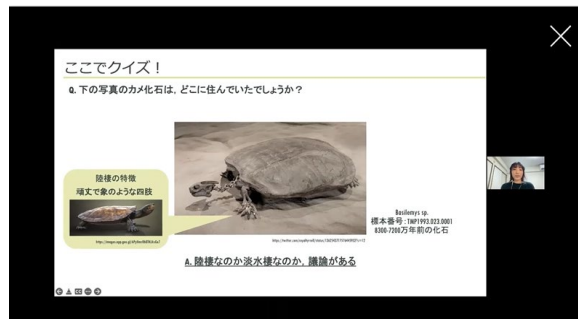
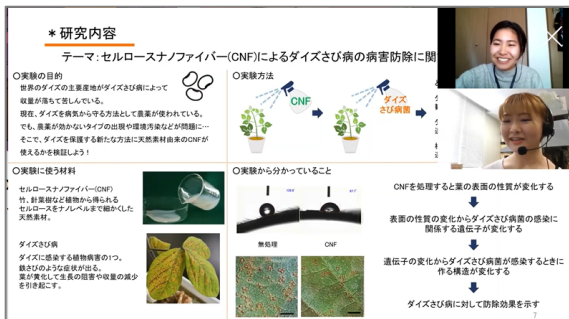
これらの発表から、「ブラックホールの重さはどれくらい？」などの研究内容についてはもちろん、「理系選択をしてどのように世界観が変わったか？」や「高校で学んだ勉強内容はどのように役に立ったか？」など様々なご質問を頂き、それに回答する形で質疑応答が進められました。

発表や質疑応答から、研究の魅力だけでなく、理系進学や大学生活についての具体的なイメージが伝わる充実した時間となりました。(末松)



私は、カメ類化石の生態推定の面白さや、古生物学の魅力を中心に、研究発表をさせていただきました。中高生に向けた発表は初めての経験でしたが、わかりやすく伝えるために、標本の提示や、質問の投げかけという工夫を行いました。発表後には、「古生物に興味を持った」という感想や、「恐竜は絶滅したのに、なぜカメは生き残ることができたのか？」といった質問を受け、中高生の積極的な参加を感じることができました。

また、研究以外にも、大学生活や課外活動についての質問も多くあり、回答する中で、私自身も中高生であった頃を思い出し、研究のモチベーションが高まりました。非常に充実した経験をさせていただき、ありがとうございました。(深澤)



お仕事紹介



お仕事紹介では、4名の社会人の方から実際の理系のお仕事についてのお話を伺いました。参加者は順番に全ての発表を聞き、発表者の皆さんのそれぞれの分野や、研究機関や企業等、様々な環境で働くことについて理解を深めることができましたようです。

また、お仕事の様子だけでなく、その分野を選んだきっかけや現在感じているやりがいについてもとても丁寧に教えていただきました。

さらに、社会人の先輩方の高校や大学時代のご経験も多く共有していただき、中高生にとって大きな励みとなりました。「数学が苦手でも理系学部を受からないわけではないと知り、頑張ろうと思った」など、勇気づけられた方のお声を多くいただいています。(脇)



相談

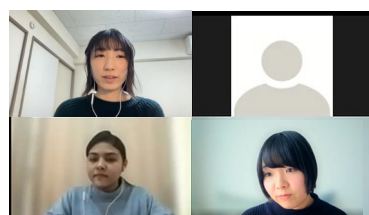


個別相談では、参加者の皆さんの文理選択や進学に関する悩みについてお答えしました。科目の得意・不得意から文理選択に悩んでいる方が多く、理系に進んだきっかけや、勉強のやり方、好きになる方法などについてお話ししました。現在の中学・高校の様子など世間話も交えて楽しくお話でき、相談員も改めて自分自身を振り返る良い機会となりました。これから文理選択を控えている参加者のみなさんの悩みについて、少しでも助けとなっていれば嬉しいです。今後いろいろな選択が待っていると思いますが、自分のやりたいことに挑戦することも大切かもしれません。(渡邊)

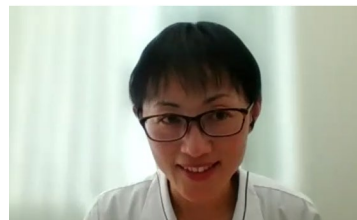
「理系と文系どちらを選べばいいの?」「数学が苦手」「受験勉強が不安」「部活と勉強の両立方法」「好きなことを見つけるには?」「筑波大学の宿舎の雰囲気はどう?」「医学部に興味がある」「将来研究したい!」など、文理選択や受験勉強などを一緒に真剣に考えたり、筑波大学に入学したらどんな生活が待っているかを楽しく話したりしました。高校で文系と理系の選択がありますが、大学では文理融合の幅広い学問から選ぶことができます。どの大学でどんな研究をして、どんな仕事に就いて、どう生きるか、悩みながらも自分なりの答えを見つけてくださいね。(清水)

ラウンドテーブルカフェ

ラウンドテーブルカフェは、4つの部屋（ブレイクアウトルーム）に分かれて行いました。Eの部屋では、研究発表をしてくれた学生2名が参加者の皆さんとお話をしました。参加者の皆さんからは、進路選択や学生生活に関するたくさんの質問、相談が寄せられました。「数学が苦手だけど理系に進んで大丈夫？」「理系の楽しいところを教えて」「休みの日は何して過ごしてる？」「サークルやバイトは？」「おすすめの勉強方法を聞きたい」「将来の夢は？」などなど。ここでしか聞けない話が盛りだくさんのイベントとなりました。筑波大生が楽しく研究をしている様子が伝わったと思います。参加者のみなさんもぜひ、興味のあることや楽しいと思う道に進んでみてください。（笠原）



生物資源学類出身の院生2人で担当したFのグループでは、研究テーマや学生生活についてお話した後、参加者の皆さんからの質問に答えていきました。特にテーマの決め方や研究の進め方など、研究活動に関する質問が多かったです。理系に進むと研究活動に取り組むことになりませんが、忙しそう、自分の時間が取れなそうという印象もあると思います。でも、興味があることを研究テーマにしているので楽しいですし、時間の使い方も自分で決めて、やりたいことは十分にできていることをお伝えしました。私たちの話で、理系に進みたい気持ちが少しでも大きくなったら嬉しいです。参加者の皆さんには、自分の好きなことに素直に進路を決めてほしいと思います。（水木）



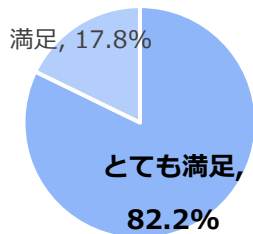
社会人ラウンドテーブルカフェでは、参加者からの様々な質問に、社会人リケジョの方々の方がわかりやすく丁寧にお答えしていました。理系に進学したいと考えたときに不安に思うことや、周囲から心配されること、そしてそれらの乗り越え方についてのお話もありました。理系進学を考える女子の先輩として、社会人リケジョだからこそわかることを、参加者の気持ちに寄り添いながらお話しされている様子が印象的でした。「数学が苦手だからと理系進学を諦めなくて大丈夫」「興味や関心を突き詰めて」「出産や育児と研究職の両立は可能」など参加者の皆さんが勇気を持てるような心強いメッセージが多く、多くの疑問や不安が解決された様子でした。（長濱）

アンケート結果



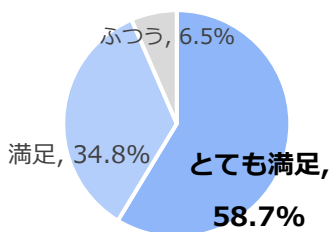
【各プログラムの満足度を教えてください】

【研究発表】



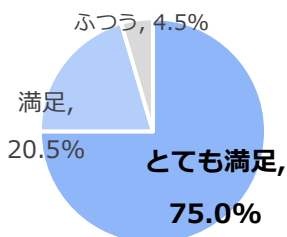
- 大学生の方が行っていた研究がどれも斬新で興味をそそられました。
- 私が知らない大学生活だったり、大学の楽しさや、各分野で活躍される方の興味深い話が聞けて良かったです。
- 発表をしてくれた皆さん（特に学生の方）がとても生き生きとしていて、大学がどういうところなのかや理系に進んだら将来どのような道があるのかわかってよかった。

【お仕事紹介】



- どの方も研究が楽しいと言っていて、わたしもつきつめたいと思えるようなテーマを見つけたいと思いました！
- 都市計画の細かなところ、理系に進んだことによるメリットデメリットが分かった。
- 理系に進んだらどんな仕事につくのか、またその仕事をしていて楽しいこと、を聞いたので参加して良かったなと思いました。
- 理系の具体的な就職先を知れて進路を決める上で視野に入れて考えたいと思いました。

【ラウンドテーブルカフェ】



- ラウンドテーブルで「大学の研究のために中高生の時にしていた勉強はありますか。」と質問したところ、「将来の研究は考えず、目の前の勉強を頑張った」という話を聞いたことがとてもかっこよく印象に残っています。
- 他の大学と筑波の違いなど沢山お話ししてくださったり、高校との違いも教えてもらい、ぼやけていた大学生活が少し見えてきました。
- 将来の不安が、個性あふれる優しい先輩方の話を聞いて少し和らぎました。

【個別相談】

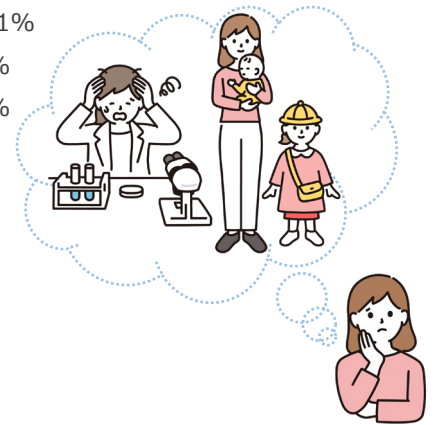
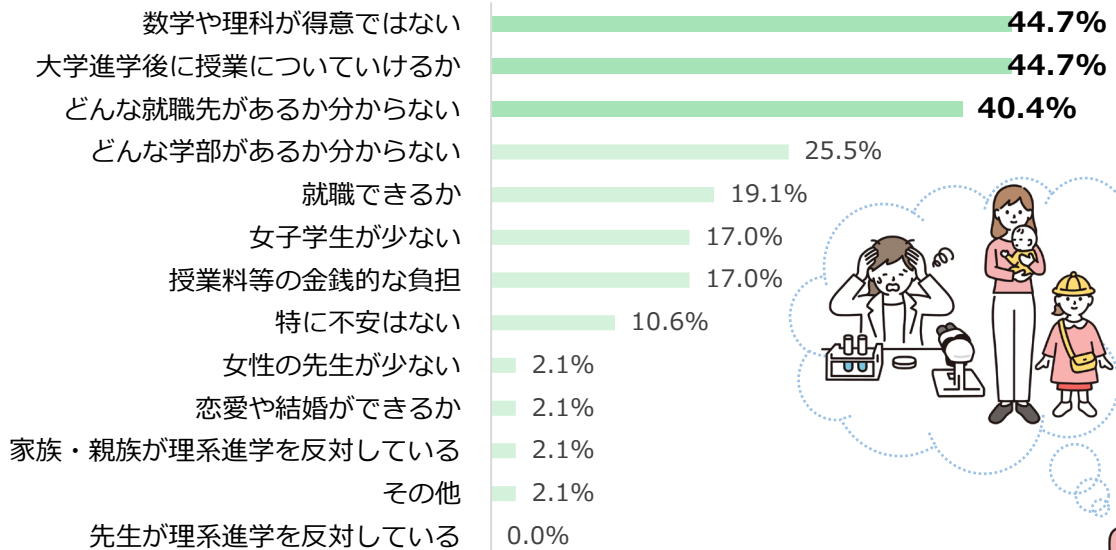


- コロナ禍でなかなか筑波大学の雰囲気を感じ取れない中、このイベントで雰囲気が少しわかって良かったです。
- 質問に真摯に答えていただいて、大学受験や就職に対しての不安が少し払拭されました。
- 個別相談で交流を深められました。

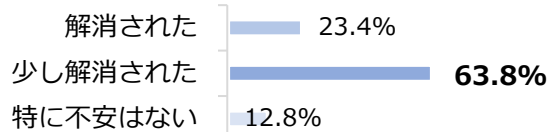
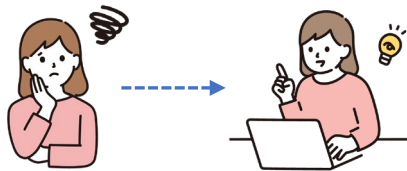
アンケート結果



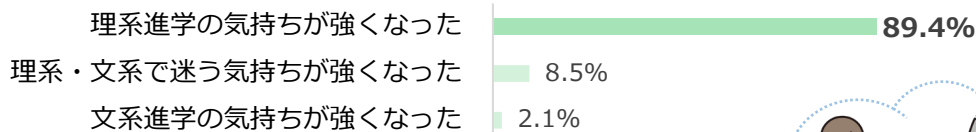
【理系進学について不安に思うことを教えてください】



【イベントに参加して不安は解消されましたか】



【イベントに参加して理系進学への気持ちに変化はありましたか】



【その理由を教えてください】

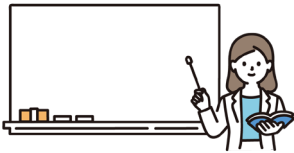
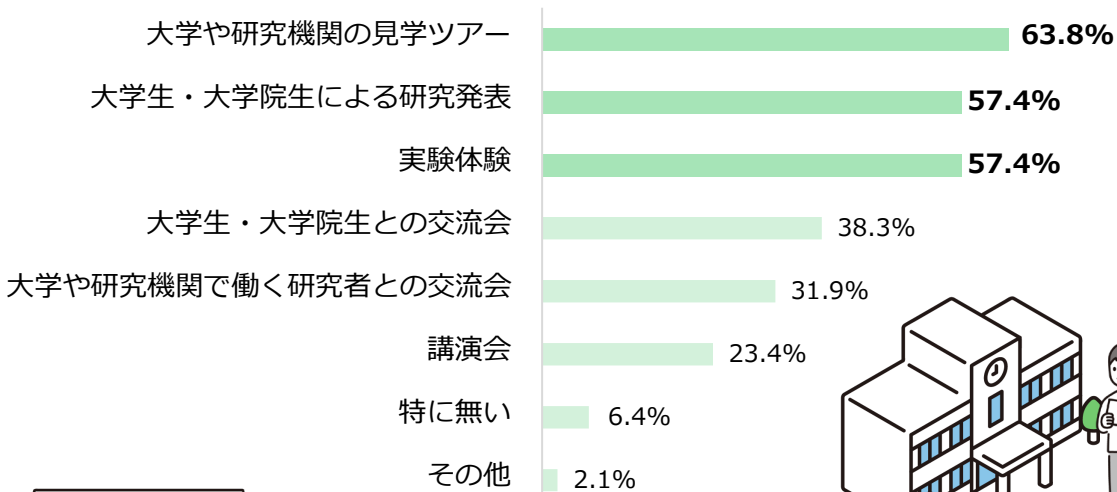
- 研究で世界の役に立ちたいと、研究発表を通して感じた
- 数学が苦手でも、理系に進むことができるとわかった
- 理系の面白さを再確認できた
- なにかを極めるのはとてもかっこいいと思った
- 理系の奥深さ、面白さを改めて知った



アンケート結果



【今後参加してみたいイベントを教えてください】



【その他、イベントの感想】

- 楽しいイベントでした。スタッフ、講師の方が輝いて見えました。
- 理系について沢山学ぶことができ、私にとって良い機会となりました。
- 大学生活が楽しみになりました！
- とてもいい経験になりました。理系に進んだらどんな仕事につくのか、またその仕事をしていて楽しいこと、を聞いたので参加して良かったなと思いました。
- 理系文系は今後の人生を左右する重大な選択と身構えすぎていたかもしれないので、今の自分の不安を聞いて下さって楽になりました。今後もよく自分と向き合って考えていきたいです。
- 研究発表や大学のことを聞くのは楽しかったですし、理系の具体的な就職先を知れて進路を決める上で視野に入れて考えたいと思いました。



スタッフ感想



今回、リケジョサイエンスフォーラムはオンラインの開催となりました。現地開催でなくても、中高生の皆さんが「理系に進みたい！」と思うきっかけになるイベントになれば良いなと思いながら本企画に携わりました。自身の研究発表では、皆さんが将来研究している自分の姿を想像してワクワクするような発表を心掛けました。「ブラックホールに興味を持った！」という声をたくさん聞いて嬉しかったと同時に、将来この発表を聞いた誰かと一緒に研究することができたら素敵だなと感じました。

そして、本スタッフの皆様には様々な面でお世話になり大変感謝しています。優しさで溢れた皆様と一緒に本フォーラムの開催に至ったことを本当に嬉しく思います。ありがとうございました。（尾形）

私は前半、後半ともにスタッフとして参加をしました。初めは、中高生向けのイベントを手伝いつつ、筑波大学の魅力を伝えていければいいなと思っていましたが、実際に博士課程に在籍されている先輩の研究内容や、実際に理系大学生から社会人として働かれている先輩の話を拝聴しながら、自分自身も多くのことを学べたイベントとなりました。

参加されていた中高生の中に「理系に進学したいが、実際に好きな科目は文系だ」という話や、「理系に進むことが不安」と思われている学生さんもいらっちゃって、少し前の自分を見ているようでした。そんな中このようなイベントを通して自分の体験談もお話しすることができたり、一緒に悩みを分かち合えるような機会に恵まれ、少しでも不安を抱かれている学生さん達の役に立てたら嬉しく思います。このような機会をいただき誠にありがとうございました。（筒井）



スタッフ



市川真衣さん、尾形絵梨花さん、笠原留奈さん、齊藤悠香さん、坂田七海さん、清水真衣さん、末松菜々子さん、田中千裕さん、筒井彩華さん、中村勇太さん、長濱奈甘乃さん、深澤春香さん、水木陽菜さん、脇へべかさん、渡邊奈穂美さん

リケジョサイエンスフォーラム-ONLINE- II Newsletter

発行：2022年2月

発行元：国立大学法人 筑波大学 ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター
ダイバーシティ担当（樋熊・片岡）

連絡先：TEL 029-853-8504 E-mail <rikejo@un.tsukuba.ac.jp>